

応急箱

～受け継がれていく思想～

Concept

世界中にあるコンテナというツールを利用し、コンテナの欠点を補い、さらに生活を豊かにするような避難シェルターを考えた。

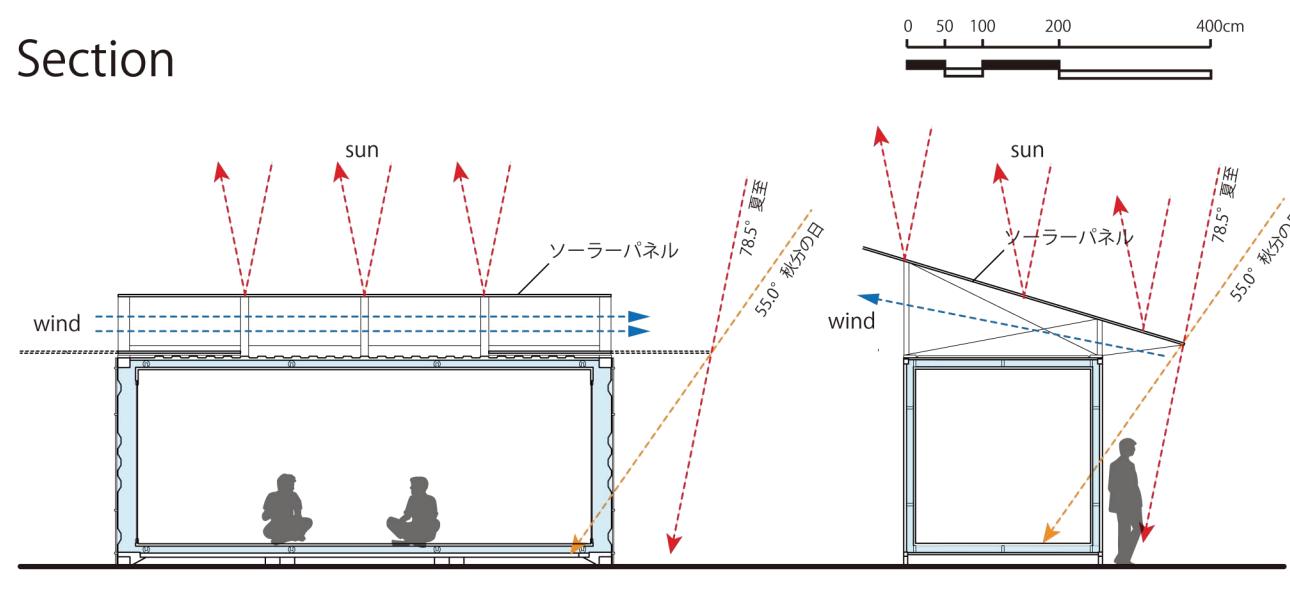
コンテナは命を守る強固さを備えている。その一方で外装が単調な色である・構造が丸出しの為、温度変化がダイレクトであるなどの欠点がある。

私達はその欠点を“入れ子”のような箱をコンテナに挿入することで解決した。さらに自由に移動でき、住戸になるという利点はそのままに。

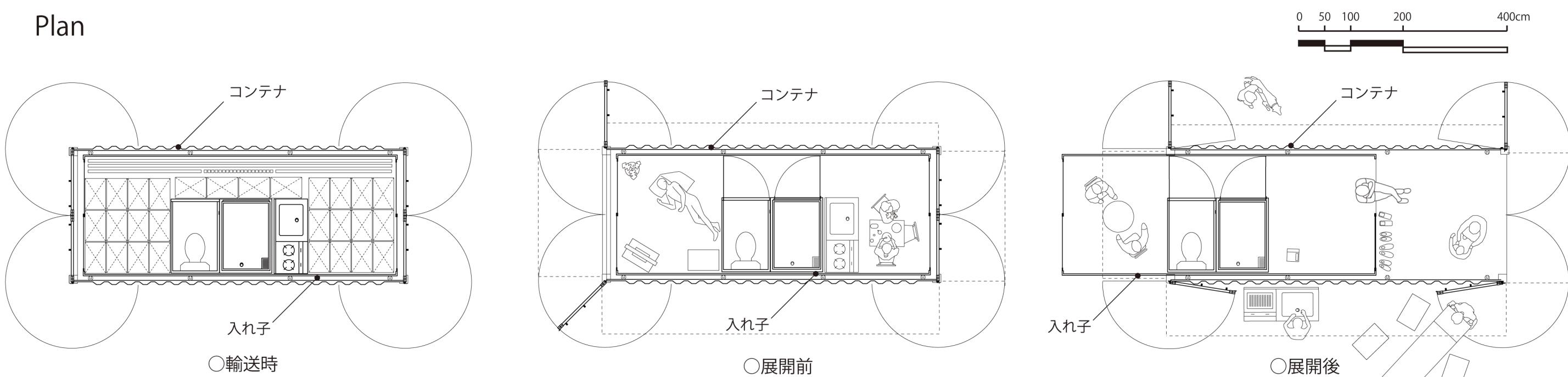
この応急箱が世界中で活躍するようになれば、災害でより世界中の絆が深まるだろう。



Section



Plan



Story

応急箱に支援物資や組み立て用の工具・部品を入れる。外装にはメッセージなどを書き込む。



日本に届けられた応急箱は被災地に送られ、家を無くした人々の仮暮らしや復興に役立つ。

After 1~10 days.
応急箱は、季節や状況に合わせ、自在に変形することができる。



After 5 years.
別の国で災害が発生。今まで応急箱を使っていた人達は応急箱を元通り使えるようにし、外装にメッセージを添えて、送る。



送られた応急箱はまた、世界のどこかの被災地で誰かの役に立つことだろう…。

